

<合唱組曲の歌詞から>

仕事は今日も山積 つぎからつぎへとつづく 疲れ果てる白衣 今日も
ほんとうは 話をきいてあげたい そばにいて寄り添いたい もうすこしもうすこし
ほんとうは 今すぐ駆けつけたい 手をとりゆっくり話したい 時間よとまれとまれ
(第1章「おはよー！おはよー！わたしは看護師」より)

介護保険は矛盾の制度 制度のなかを汗して 走るわたしはヘルパー
人間の生活に線はひけない ひけない線のうえを 走るわたしはヘルパー
笑顔 声かけ みきわめ サンサン
笑顔 声かけ みきわめ サンサン
太陽のように あたためよう 暮らしを 日々を
ひなたの時間 自転車に乗って 走るよ 走る
(第3章「自転車で今日も走るヘルパー」より)

貧しくて病院に行けない人が増えている
国や政策は声高に責任から逃れようとする
病院は制度のなかで ただ忙しく疲れきる
人々は苦しさをこらえ じっと顔を伏せている
このまま 黙っていないで 顔をあげよう
暮らしを守れない制度に 声をあげよう
いま このいのちのために
いま あしたのいのちのために
(第7章「いのちをつなぐ仕事」より)

作詞者、作曲者のプロフィール

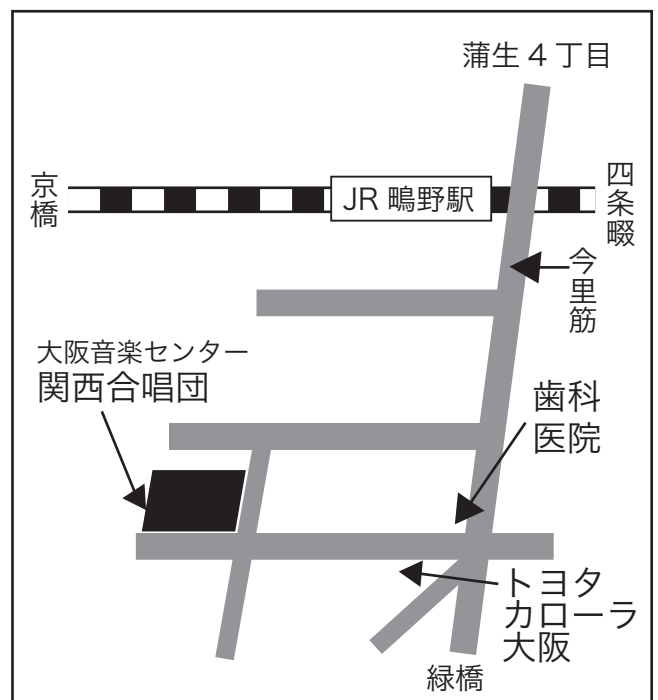
上田假奈代(うえだ かなよ)

3歳から詩作、17歳で朗読をはじめ。
「詩のボクシング」大阪チャンピオン。NPO法人「こえとことばとこころの部屋」(大阪市浪速区)の代表。表現を軸にした、ニートや引きこもり、ホームレスなどへの新しいカタチの支援も行う。毎月、大阪市と京都市でワークショップ「詩の学校」を開催。主な作品に朗読CD「戦場写真」「あなたの上にも同じ空が」「詠唱 日本国憲法」など。

安広真理(やすひろ まり)

福岡市出身。武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。西日本新人紹介演奏会出演。川口由美子、柴戸亜樹、中村順子、坂井玲子各氏に師事。

現在、合唱、器楽の伴奏者として活動しながら、創作活動も積極的に行っている。主な作曲作品に「その手の中に」、「ねがい」、「ひとつのピース」などがある。



大阪音楽センター

大阪市城東区鳴野西 5-17-16

(JR 学研都市線「鳴野」駅・地下鉄今里筋線「鳴野」駅下車徒歩 10分)